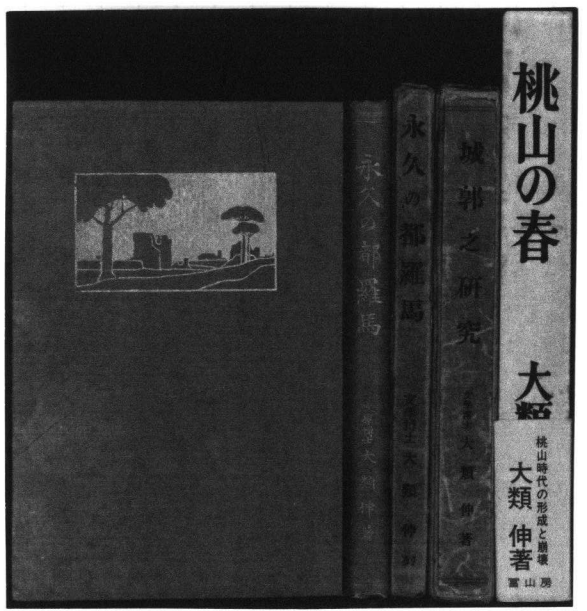


大類伸 おほなほののり 西洋史學者、文學博士。明治十七年一月二十一日東京  
 生れ、昭和五十年十一月二十七日夜（二八四—九七五）。舊姓伊藤。明治  
 二十九年東京帝國大學文科大學史學科卒。大正十一年東北帝大教授、  
 のち日本女子大學、明治大學各教授歴任。この間帝國學士院會員。

著譯書『ヴェニスとフロレンス』（大正二年十月十八日赤城正藏刊  
 『アカギ叢書』）、『世界大戦史』（合著・村川堅固監修、大正四  
 年二月十八日讀書會）、『獨逸研究』（合著・教育學術研究會編、大  
 正四年十一月二十四日同文館雜誌部）、『現代世界の史的觀察』（大  
 正七年十一月十八日天祐社）、『世界大戦概史』（大正八年十一月十  
 日右文館）、『歴史と自然と人』（大正十年二月五日博文館）、『永  
 久の都羅馬』（大正十五年四月二十日雄山閣）、『伊太利  
 みの都羅馬』（大正十五年四月二十日雄山閣）、『みやげ美術とたづ  
 ね』（昭和二年四月二十日博文館）、『城郭の研究』（昭和十二年  
 三月二十日日本學術普及會）、『列強現勢史—ロシヤ』（昭和十二年  
 八月十四日富山房『富山房百科文庫』）、『列強現勢史—東中歐諸國』  
 （昭和十四年五月十五日富山房『富山房百科文庫』）、『明治回顧』  
 （昭和二十一年二月二十五日生  
 活社『日本叢書』）、『歴史の  
 の道—藤村と漱石』（昭和二十  
 二年九月二十日神奈川・白高書  
 房）、マッツイーニ著『人間義  
 務論他』篇』（譯、昭和二十七  
 年五月二十五日岩波書店『岩波  
 文庫』）、『桃山の春』（昭和



四十四年十月二十五日富山房(等)。